日刊工業新聞
THE NIKKAN KOGYO SHIMBUN
8月18日木曜日
2022年（令和4年）

日本のトップランナー企業

瑞光

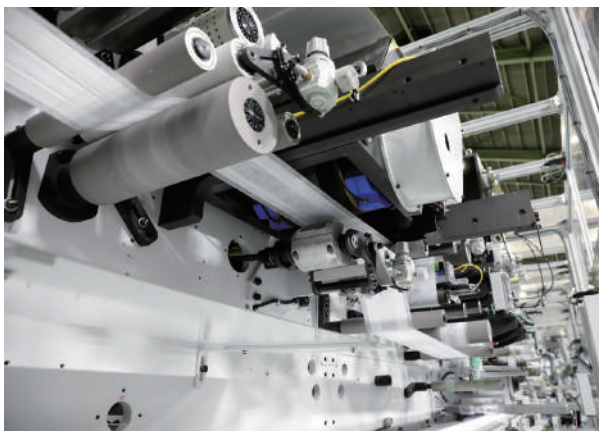
日本発の高品質な衛生用品生み出す装置で世界トップへ

瑞光（大阪府茨木市）は衛生用品製造装置メーカーとして、独自の技術や開発力で高い評価を得ている。生理用ナプキンや紙おむつの黎明（れいめい）期から製造装置の設計や組み立てを手がけ、衛生用品メーカーの新製品開発や工場の生産性向上を長く支えてきた。高い品質を誇る日本の衛生用品が世界各国で認知されるとともに、製造装置の需要も大きく伸び、近年は中国やブラジルに生産拠点を設けるなど、グローバル展開を加速させている。今後も日本の高いモノづくり技術を強みに、世界市場でのシェアトップを目指す。

回転体で高速加工実現

同社の製造装置は高速、高性能で知られ、1分間に紙おむつで最大1000個、生理用ナプキンで1500個を生産できる。紙おむつの場合、全長40―50㌢にも及ぶ製造装置に、素材を順次供給するだけで、パルプや高吸水性樹脂などで吸収体を作り、その吸収体を挟むように表面材や防水材を貼り合わせ、足まわりのギャザーや固定用テープなどを装着する作業まで自動で行う。

高速で運転される製造ラインの中で、素材を切り貼りしたり、製品の方向を変えたりする時間を確保する必要がある。同社では回転ドラムを利用し、時間的な余裕を生み出したり、回転中に方向を変えたりして、次工程に受け渡す独自の仕組みを確立している。梅林豊志社長は「ドラム回転1周360度のうち、始点から180度でいくつかの仕事をし、そこから終点までの180度で元に戻す。この動作を高速で繰り返す。高速稼働させながら、いかに安定して精度の高い製品加工をするかというテーマは、当社が長年追求してきたことの一つである」と自信をみせる。


▲紙おむつ製造装置

総合的提案力も強み

1946年、大阪市東淀川区で創業。61年に生理用ナプキンの国産第1号機を生み出し、70年代初めには紙おむつ製造機械の製造・輸出を始めた。その後も、立体形状のパンツ型おむつ製造装置や、生理用ナプキンの三つ折り・梱包包装の一貫製造ラインなど、独創的な製品を世界に先駆けて開発してきた。これまでに出荷実績のある国は36カ国に上り、すでにパンツ型紙おむつ製造装置の出荷台数では世界トップという。

日本をはじめ、アジアではパンツ型紙おむつが主流だが、欧米や南米などではテープ型紙おむつの需要が根強い。この国ごとの需要の違いは子どもの体形の違いのほか、室内で靴を履く生活様式が影響していると見られる。同社ではパンツ型、テープ型双方の良さを生かし、パンツ型でありながらテープによって腰回りのサイズを調整できる「リファスナブル機能」付きの商品を製造装置とともに開発。同商品は2021年から日欧米などで販売されている。装置だけではなく、マーケットインの発想で、商品企画や素材加工技術などを含め、総合的に提案できるのも強みだ。

THE ZUIKO WAY

▲梅林豊志社長

ここ数年、モノづくりへの原点回帰とともに、成長に向けて積極的な投資を行ってきた。「独創する、技術を深める、開拓する、共生する」を柱にした行動指針「THE ZUIKO WAY」も新たに策定した。21年11月には茨木市に本社工場が完成し、これまで分散していた工場を集約したことで、部品製作や組み立て、試運転などの一連の工程が効率的に進められるようになった。また、22年、デジタル技術を活用した高度な研究開発や、製造現場におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）化を担う子会社「イノベーションセンター」を設立。さらに紙おむつリサイクルの事業化や介護現場向け自動排泄処理装置の普及にも取り組んでいる。

主力の製造装置事業では引き続きアジア、アフリカなどでの需要拡大を見込むほか、欧米を中心に大人用紙おむつ製造装置の受注獲得に力を入れる。世界のマザー工場と位置付ける新本社工場について、梅林社長は「（工場集約によって）社内のコミュニケーションがより円滑になることで、実際にものを見て理解し、設計・製造するというモノづくりの基本が徹底でき、技術力の底上げにつながる」と期待する。

ただ、世界のライバルメーカーとの競争に打ち勝っていくには、堅実なモノづくりに加え、デジタル技術やデータを駆使して長年の経験やノウハウを可視化し、それを独創的な製品づくりに直結させることが重要だと梅林社長は考えている。「ローテクとハイテクの融合によって、日本のものづくり技術をさらに進化させ、世界に発信していく」ため、コーポレートメッセージでもある「Make the Impossible Possible（不可能を可能に）」を旗印に、世界での挑戦はこれからも続く。

▲新本社工場

Make the Impossible Possible
ZUIKO
株式会社　瑞光（ZUIKO Corporation）
〒567-0082　大阪府茨木市彩都はなだ2丁目1番2号
TEL:072-648-2215（代表）　https://www.zuiko.co.jp